



時間変更のお知らせ



1. お茶の水・井上眼科クリニックの
お電話での予約受付時間が変更になりました。

再診はご希望日の3日前まで、初診は前日まで、電話によるご予約をお受けしています。

変更後の電話予約の受付時間

月～土曜日：午前 8時30分～午後 4時30分 予約専用電話：03-3295-0923

2. 駿河台診療所の受付時間が変更になりました。

変更後の受付時間

月～金曜日：午前 10時30分～午後 1時 午後 3時～6時30分
土曜日：午前 9時30分～午後 12時 午後 2時～5時

オススメ!

レーシック(近視矯正手術)説明会

LASIKに関心をお持ちの方、実際に検査・診察を受ける前に説明を聞いてみたいとお思の方は、お気軽にご参加下さい。ご希望の方はお電話でお申し込み下さい。

フリーダイヤル 0120-48-4930

■日時：平成23年1月18日/2月8日・22日/3月8日・29日
18:30より1時間程度

■場所：井上眼科病院1階 ■費用：無料

歴史資料は語る 13 (井上眼科病院「目の歴史資料館」より)

井上治郎のベーチェット病研究

平成20年6月に亡くなった第九代院長井上治郎は、医師、研究者、また病院経営者として、それぞれ一流の業績を残しているが、今回は若き日の研究者としての一端を紹介したい。

昭和40年第69回日本眼科学会総会において、「光刺激による視覚誘発電位の研究」と題して講演を行い、その研究を更に発展させ、46年東京大学から医学博士の学位を授与された。46年8月新設された帝京大学医学部眼科の助教授に就任、47年5月岡山市で開催された日本眼科学会総会にて、厚生省のベーチェット病研究班員として、同大学の荒木誉達講師とともに調査結果を発表した。当時「難病のベーチェット病」と言われていただけに、我国最初の研究調査は大きな反響を呼び報道された。

井上治郎は「眼科研究というもの、病気に罹っている患者の社会的状態の分析なども当然あって良いと思う。現在の時点で多くの患者を救う、あるいは一般の人々の注意を向ける可能性のあることもやる必要がある」と語っているが、後年、「患者様第一の治療を」を唱えた理念は、このベーチェット病調査に垣間見ることができる。

「歴史資料は語る」は今回が最終回です。



昭和47年5月7日の朝日新聞より



謹賀新年
二〇一一年元旦



「患者様第一主義」
本年もよろしくお願いたします。

井上眼科病院 理事長 井上 賢治

あけましておめでとうございます。昨年の井上眼科病院グループについてご報告いたします。

1月に西葛西井上眼科クリニックでオルソケラトロジー(角膜矯正療法)を開始致しました。オルソケラトロジーとは、夜間に特殊なハードコンタクトレンズを装着し、角膜のカーブを平坦化させ、近視を取り除く治療です。昼間はコンタクトレンズを外し裸眼で生活できるようになります。駿河台診療所においても11月からオルソケラトロジーを開始しました。関心のある方は是非外来を受診して下さい。

4月に「これで解決!目のトラブル相談室」という本を共同通信社から出版しました。患者様が抱えている目の症状(30項目)について井上眼科病院グ

ループの医師17名が各々の専門分野に関してわかりやすく解説しております。この1冊で目の仕組み、病気についてすべて理解できると思いますので是非ご一読下さい。

6月に井上眼科病院と西葛西井上眼科病院で入院病棟の改装を行いました。患者様の利用頻度の高い多床室を増やし、さらに井上眼科病院では患者様の夜間転倒防止対策として病室内の照明器具を改良しました。

9月には麻酔科専門医の田尻美香医師が入局しました。これにより全身麻酔手術がいつでも可能となり、患者様の急な病状の変化にも対応できるようになりました。局所麻酔手術においても手術中の血圧上昇などに速やかに対応できるようになり、患者様の安全性が

さらに向上しました。また9月から井上眼科病院でロービジョン外来が始まりました。鶴岡美恵子医師が担当し、目の見えづらい患者様に対して相談やアドバイスを行っております。

12月から駿河台診療所の平日(月～金曜日)の受付時間を1時間繰り下げて午前10時30分から午後6時30分としました。仕事帰りの患者様にも利用しやすくなりましたのでお立ち寄り下さい。

今年も「患者様第一主義」の基本理念のもと患者様のニーズに合った病院を目指して職員一同精進してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



井上眼科病院 創立130周年記念 市民公開講座のお知らせ

井上眼科病院はおかげさまをもちまして来年創立130周年を迎えることとなります。
 こちらを記念して以下の市民公開講座を開催いたします。
 当院の医師が5つの話題を提供します。
 皆様のご参加を心よりお待ちしております。



創立130周年記念 市民公開講座

【眼のトラブル こんなときどうする?】

—眼のトラブルとの上手な付き合い方—

日時：平成23年4月23日(土) 14:00～16:30

会場：中央大学記念館2階 大会議室

千代田区神田駿河台3-11-5

最寄駅 JR【御茶ノ水駅】聖橋口から徒歩3分

千代田線【新御茶ノ水駅】B1・B3出口から徒歩3分

参加費無料

事前に当院受付に
お申し出下さい。

(定員になり次第締切とさせていただきます)

著書紹介

「目の異常、そのとき」若倉雅登 著 (井上眼科病院院長)

目からウロコの眼科の話

北海道新聞などの全国の地方新聞に一年余りにわたり掲載された眼科疾患の解説記事約70篇をまとめて一冊の本にしました。病気の解説書というより、病気を介した患者と医師のふれあい集のような本です。

各章に、若倉医師の思いが込められています。病気の通り一遍な解説を羅列した本ではありませんから、病気に関する理論的かつストレートな説明を期待するとがっかりするかもしれません。目の病気や症状のある人々の感じ方、それを取り巻く環境を浮き彫りにし、なぜそうなるのか、どう対応すればよいのかなどを神経眼科医の立場で綴っています。



定価 1500円+税
人間と歴史社

麻酔科常勤医師招へいと役割

昨年9月より井上眼科病院に常勤麻酔専門医が入局いたしました!

当院では、年間約7000件近くの手術を行っており、全身麻酔はそのうち120件余を占めています。

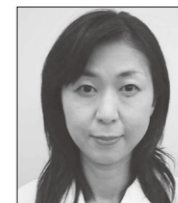
小児白内障、斜視、角膜移植などが全身麻酔下で行われ、小さなお子様も多く含まれています。

術中のみならず、慎重な術後管理を要します。その他は局所麻酔下で行われますが、御高齢の方や特殊な疾患を有する方もおられます。麻酔医は手術室に常在していますので、術中の偶発症にも迅速対応が可能で手術がより安全な形で遂行できる体制となりました。

また、11月より「ペインクリニック」の外来も開設されました。神経痛などの痛みをコントロールする治療のひとつですが、この治療も特別な麻酔経験を要します。田尻美香医師の着任で患者様への診療内容がさらに拡大充実するものと期待できます。



入局医師の紹介



井上眼科病院

田尻 美香 (たじり みか) 医師

今まで総合病院で麻酔管理・ペインクリニック外来を担当していました。

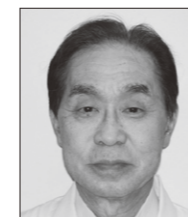
麻酔科医の主な業務は「患者様に安全で快適に手術を受けていただくこと」です。全身麻酔予定の患者様には、麻酔について正しく理解していただき無用な不安が解けるように、外来にて麻酔の説明を行っています。術中は患者様の状態を観察し麻酔管理します。術後は病棟を訪問し全身状態を診ます。(そして院内で急変された場合可能な限りかけつけます)

また、ブロック治療が有効な患者様にペインクリニック外来にて神経ブロック治療を行いますので詳しく知りたい方は主治医にご相談下さい。

皆様に信頼していただける麻酔科医となれますよう取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



西葛西・井上眼科病院だより



新しい年に さらなる感性を

西葛西・井上眼科病院 院長 宮永 嘉隆

何か世の中、ゆれ動きながら、不安におののきながら新しい年を迎えたような気がします。それでも明けましておめでとうございます。今年もよろしくご挨拶申し上げますと心を込めて申し上げます。そんな中、お陰様で西葛西井上眼科病院は無事に越年し、今年もさらに良い診療を目指して、スタートをきりました。

患者様第一主義を貫くためにも働きがいのある職場を目指して、働きやすい職場を目指して職員一同で努力を重ねています。診療の面では新しい優秀な若き医師達が加わります。皆様方の視力のより良い管理を目指して視能訓練士もますます充実して来ます。

働きがいのある職場とは何でしょうか。私共は眼の健康を通して、皆様方に幸せだと感じていただけることが至上の喜びだと思っています。病院に来られて受付から検査、診療そして会計と薬、帰路に着かれる時にどれだけ穏やかな気持ちでいて下さるか考えると、私達も、もっと豊かな感性を身につけるべきだと思います。物事を見聞し、それに心を動かされ感動する。感受性、そしてそこから物事を深く考え、人のために何が出来るか、何をすべきかを考え実行していくことこそ、人の根源である感性だと思います。何かの本で読みましたが、子供の給食費はちゃんと払っているのだから、食後、ごちそうさまでしたと云う必要はないと云った親がいたそうです。そんな人間にはなりたくない、そんな病院であってはいけません。

今年も待ち時間対策、正確な検査、適確な診療、心ある応対を皆で目指して頑張っていきたいと思っています。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。